

授業科目名	研究ゼミナールⅡ	担当教員	◎青山美紀子、○千葉恵子、足立智孝、休波茂子、大野知代、岡本明美、志村千鶴子、長江弘子、久保幸代、栗栖千幸、樹本輝樹、川上裕子、松本幸枝、中島洋一、有家 香、鶴沢淳子、松谷典洋、下 睦子、吉野妙子、路 璐、山田案美加、松丸直美、鈴木玲子、高橋玲子、新川実穂、堀 希好	科目ナンバリング NM499
必修	開講年次：4年後期	単位：1単位	授業形態：演習30時間	

【授業概要】

このゼミナールは、研究ゼミナールⅠから継続して行い、「研究論文」の完成に必要な情報について対話し、共有する。研究計画にそってデータの収集、データの分析、考察などの過程を通して、論文の作成へともっていく。

【授業目的・目標】

1. ゼミナールを通じて学生は教員との定期的な接点を持ち、小人数のグループの中で、研究のプロセスや研究論文を作成に当たっての問題点や方法論について話し合う。
2. 研究計画にそってデータの収集、データの分析、考察などの過程を記述する。
3. 研究論文を作成する。

【履修条件】

「研究ゼミナールⅠ」を修得していること。

【授業計画】

- [01] 担当領域・担当教員別ガイダンス
- [02] 担当領域・担当教員別討論 ①
- [03] 担当領域・担当教員別討論 ②
- [04] 担当領域・担当教員別討論 ③
- [05] 担当領域・担当教員別討論 ④
- [06] 担当領域・担当教員別論文作成 ①
- [07] 担当領域・担当教員別論文作成 ②
- [08] 担当領域・担当教員別論文作成 ③
- [09] 担当領域・担当教員別論文作成 ④
- [10] 担当領域・担当教員別討論文作成⑤
- [11] 担当領域・担当教員別論文作成 ⑥
- [12] 担当領域・担当教員別論文作成 ⑦
- [13] 担当領域・担当教員別論文作成 ⑧
- [14] 担当領域・領域内での発表会 ①
- [15] 担当領域・領域内での発表会 ②

【教科書】

坂下玲子、宮芝智子、小野博史(2016). 系統別看護学講座 別冊 看護研究, 医学書院.

【参考書】

大木秀一(2015). 看護研究・看護実践の質を高める文献レビューのきほん, 医歯薬出版.

【評価方法・評価基準】

研究論文 80%、発表 20%

【講義のために必要な事前・事後学習】

事前学習：担当教員の指導を受けながら、自らの研究、論文作成をすすめる。

事後学習：担当教員からの指導の結果を吟味し、論文の修正を行う。

【教育目標(必須要素)との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅲ. 根拠に基づいた看護実践能力、Ⅳ. テクノロジーを効果的に活用する能力、Ⅷ. 生涯にわたり継続して専門性を向上させる能力と関連する。

【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

研究論文と研究発表については、評価基準を別途示し、評価する。評価内容について個人にフィードバックする。

【備考】

看護研究、研究ゼミナールⅠの学びを生かし、学生自ら主体的に取り組むこと。